

■ 教育目的

薬学科 5 および 6 年次の教育目標は学術知識の吸収よりも知識の統合と応用力の形成である。その観点から本学の特別実習は有意義な機会を提供している。本科目では、各自学生が選択したコース以外のコースの教育内容に関連した今日的な問題を学内外の教員の講義により学ぶことにより本学の特別コース教育を通じて総合的な視点を得ることを目的とする。各特別コースの講義では、各分野における著名な人物を学外講師として招待する特別講義も計画している。

【卒業認定・学位授与の方針：YD -①、⑤、⑥】

■ 学習到達目標

1. 病院薬学、地域医療、臨床開発、健康薬学、伝統医療薬学、薬学研究、海外医療研修の 7 コースの教育内容の概要を理解する。(知識)
2. 薬剤師が社会で活躍する分野を広く知ることにより卒業後の進路選択が容易になる。(知識)

■ 準備学習（予習・復習）

予習：各講義内容の事前資料またはテーマに即した自主的な予習 (20 分以上)

復習：当該授業内容の確認と補足の自主学習、授業によってはアンケート・レポートの提出 (30 分以上)

■ 授業内容

薬学生の多様な進路に応じた斯界の権威者を講師として、各分野の最新の情勢に基づいた 6 年間の薬学教育の統合を行う。

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	病院薬学コース担当	病院薬剤師の諸問題 (1)	A (1) (2) (3) B (1)
2	//	病院薬剤師の諸問題 (2)	//
3	地域医療コース担当	調剤薬局での薬剤師の諸問題 (1)	//
4	//	調剤薬局での薬剤師の諸問題 (2)	//
5	臨床開発コース担当	新薬開発に携わる薬剤師の諸問題 (1)	//
6	//	新薬開発に携わる薬剤師の諸問題 (2)	//
7	健康薬学コース担当	健康科学・衛生薬学に関する薬剤師の諸問題 (1)	//
8	//	健康科学・衛生薬学に関する薬剤師の諸問題 (2)	//
9	伝統医療薬学コース担当	漢方薬をはじめとする伝統医療および代替医療に対する薬剤師の役割 (1)	//
10	//	漢方薬をはじめとする伝統医療および代替医療に対する薬剤師の役割 (2)	//
11	薬学研究コース担当	研究者としての薬剤師 (1)	//
12	//	研究者としての薬剤師 (2)	//
13	海外医療研修コース担当	海外で活躍する薬剤師 (1)	//
14	//	海外で活躍する薬剤師 (2)	//
15	補遺	総合討論	

■ 授業分担者

赤沢 学、小笠原 裕樹、佐藤 光利、高野 伊知郎、山崎 紀子、池上 洋二、花田 和彦、馬場 正樹、三田 充男、学外講師

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

出席 (40%)、アンケート・レポートなどの提出 (50%) が基本点、授業への積極的な参加は加算点 (10%) として評価する。

■ 教科書

特に定めるものはない、講義によっては配布資料

■ 参考書

特に定めるものはないが、講演テーマに関連する書籍は図書館に収蔵されており利用可能である。

■ その他

AB クラス合同講義